



ゆり北

第55号(6期第8号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

第三回

ゆり北

文化展

第三回ゆり北文化展が、十一月二十六日(土)と十一月二十七日(日)に十二号棟集会所と四号棟のピロティーで開催されました。今年は二月に第二回文化展を開催したため、出展点数も少なくなるのではないかと危ぶまれましたが、数多くの出展と晴天にも恵まれ盛況の内に終わることができました。

文化展に取り組んで

文化展も今回で三回目となり、住民の中に、すっかり定着した感があります。これまで二回は、自治会の他の行事と重ならないように、開催時期をその都度配慮してきました。

今年二月に、六十二年度の文化展を開き、同じ年に第三回目を開催することは、少し無理があるのではないかと意見が、文化体育部内にありました。そこで十月初旬に、これまで出展して下さった方々に、お集まりいただき懇談会を開き、いろいろな意見をいただきました。その中で、開催時期は、やはり「秋」十一月中が良いということになりました。今後は、とにかく出展数が少なくても定期的、継続的に行うことによって住民の中に、定着させていきたいという声を反映させるために、広報、ポスターで出展を呼びかけました。しかし、締切り前日までに、連絡があったのは、六〇点ほどでした。二十三日締切日の夜に続々と連絡が入り、総数百三点も集まり、前日の夜から午後一時のオープンまでおわらわで当日の準備をするありさまでした。また今日の文化展には、成増消防署からは、火炎予防運動のキ

ヤンペーンとして、子供の「消防車」の絵を展示し、かつ消防署のパンフレットを置きました。



今後の自治会費……

今後、自治会費の集金についてのお知らせを集金月の前月号の会報「ゆり北」に掲載することにします。
(「ゆり北」十一月号に載せた一号棟集会所の要望より)

はじめて 出品して

島原公子

分もわきまえずに軽い気持ちで出品したわけですが、すばらしい作品と一緒に飾って頂き本当に有難うございました。これを励みにこれからも街のスナップ写真を撮って歩きたいと思っています。

昨年の 文化展に 印象づけ られて

桑原知子

昨年の文化展を拝見し、洋画・彫刻等々全てが力作で大変感銘しましたが、その中に日本画がないことに気づいたことと、私が日本画を描いていたため、来年の文化展には是非参加したいと思い今回参加させてもらいました。参加することは大変意義のあることなので、また来年も参加したいと考えています。

資源の再利用に

御協力 ありがとう

ありがとう

アルミニウムは、我が国では大切な資源の一つでありまして、昨年六月より、ゆりの木会として、資源回収の意味合いをこめ、アルミ缶の回収を続けております。幸いにもゆりの木の皆様より熱心なるご協力を頂き、アルミ缶で着々と社会奉仕の成果を上げております。

つきまして、このたびアルミ缶の収益金より、一万五千円を板橋区社会福祉協会を通じ福祉に献金する事ができました。そしてこの献金により、めぐまれない人々が少しでも幸せの足しになってくれたならと祈っております。このように奉仕の一部ではあります、社会のために貢献で

きました事は、ひとえにゆりの木の皆様のご協力のお陰でありまして、紙上をかりまして、厚くお礼申し上げます。これからも引き続きアルミ缶の回収に力を入れてゆきますので、何卒ご協力の程お願い申し上げます。誠に簡単ではありますが、お礼がたご報告まで。

ゆりの木会長

水原三喜蔵

駐車場調査報告 がまとまる

昨年、東京都駐車場公社が、光が丘と八潮両団地で行った調査報告がまとまり、区議会に報告されました。

この報告では、団地住民の駐車場ニーズに供給が充分応えられていないこと、そのことから団地周辺に無秩序な路上駐車を生み出していることを鋭く指摘しています。また報告は、所得と車の保有の関係では差異はなく、都営住宅に駐車場のないことが事態を複雑にしているとしています。更に全世帯の六〇七割が車を保有していること、今後見込まれる複数保有や来客用スペースなどの需要に対応するためにも、増設が必要であるとしています。既存団地の改善の提言として、立体化・機械化や団地内諸施設の柔軟な運用方法の検討など、団地内での駐車スペースの確保が必要だとしています。

しかし、建築規制の緩和や建設資金の融資など、行政の積極的な対応が必要なこと、住民の中での車保有者・非保有者間の調整、費用負担の在り方(報告では、駐車場利用者による受益者負担を原則とする考えを示している)など課題も多く、実現までには多大なエネルギーと時間を必要とすることも述べています。

投稿

自治会文化展に出品して
私の子育てと洋裁人生

二一〇八 片岡 はる江

出品した四点は今年の九月はじめてから作った自分のものだけです。一つの型紙でシーズン毎に毎年二、三十点は作ります。自分のもの、娘のもの(高校生二人の母親)昔からの友人のもの等、外出着になるようなものは出来ませんが、型紙は今生地屋とかミシン屋で売っていますから楽です。M判が私にはちょうどよく、娘とその娘等のも一寸加減すれば済みます。友人は肩巾も腰巾も広いので少々苦勞します。正式に洋裁をなさった方とか、プロの方からごらんになればお粗末な仕上がります。もともと洋裁の基礎はやりました。胸囲、ウエスト、腰囲り、背丈を計って原型を作る。これで女学校に入った時から五年、卒業までの間に下ばかりからオーバーまで作りました。私が女学校に入った時は関東大震災の翌年大正十三年です。この頃は

和服あり、手製の服ありバラバラでした。二年生の時、制服が決まりました。話は戻りますが人の体というもの、時が経てば変わります。太る人、やせる人、背丈も違ってきますよ。少々生意気で「その都度原型作るなんて面倒じゃないか」と勝手に大中小を作って裁つ時工夫していました。反抗していたわけですね。その学校の制服を自分で作りました。当時は上野松坂屋とか滝野川にあった授産場で眺めるよう指示がありました。私は自分で神田の間屋から紺サージを買ってきて作ったのです。その後一時期、毛糸編物などに夢中になりよく編物しました。子育ての頃又々洋裁に戻りました。ヤール巾(約九十センチ)の木綿布地を一ヤール買ってきて赤ん坊の上下を作る。出来上がるとうれしくてうれしくて。子供が大きくな



て、次男が大学入学式に着る学生服、これを作ったのです。長男は亡くなったお父さんの古い服を着て、学校に会社に行ったものです。その学生服は、さすがに私も恐れをなして入学式当日の朝までボタン付けなどしていました。時間ぎりぎり出来上がって、それを着せ息子が家を出た時、その後姿を見て感激の涙が思わず出ました。その様は今だに忘れられません。息子が大学に入れたという喜びより学生服の出来上がったのが嬉しかったみたいです。

私の洋裁の歴史には、子育ての頃が戦争中だったことや、主人に早くゆりの木並木を「ゆり北」の自慢にするのも一案でしょう。実現には、芝生やバラの手入れにもっと力を入れる必要があります。落葉を嫌ってゆりの木の枝を切りつめるようなことは避けなければいけません。専門業者に頼むだけでなく、プランターに花を植える等、できることを見つけてみませんか。植物に詳しい方もいます。植物に詳しい方が指導者になって、子供たちも参加すれば、交流も深まります。多くの公園緑地に囲まれ、都内で最高と言われる光が丘団地の環境を楽しみ、ますますよいものに育っていききたいものです。 完

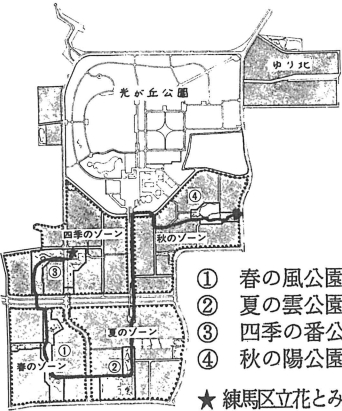
シリーズ 園芸 ⑤

賀来佳子

豊かな時代を反映し、最近の集合住宅には、みどりやスポーツ施設等を備え、質の高さをアピールするものが多くなりました。

集合住宅の価値を保つには、管理が大きくものを言います。建築物の管理は日常の清掃から大がかりな補修工事まで行われますが、いづれにせよ、人工物は年月とともに次第に傷んでいくのに対し、生命あるみどりは、植えた時がスタートで、適切な管理によりますますよくなってゆくものです。

光が丘周遊コース



団地の環境の目標とする姿を具体的に描き、その目標に向けたみどりの管理計画をたて、実施すれば、団地の価値はさらに高まっていくのではないのでしょうか。

美しい芝生とバラの花、堂々たる

- ① 春の風公園
- ② 夏の雲公園
- ③ 四季の番公園
- ④ 秋の陽公園

★練馬区立花とみどりの相談所

ゆりの木並木を「ゆり北」の自慢にするのも一案でしょう。実現には、芝生やバラの手入れにもっと力を入れる必要があります。落葉を嫌ってゆりの木の枝を切りつめるようなことは避けなければいけません。専門業者に頼むだけでなく、プランターに花を植える等、できることを見つけてみませんか。植物に詳しい方もいます。植物に詳しい方が指導者になって、子供たちも参加すれば、交流も深まります。多くの公園緑地に囲まれ、都内で最高と言われる光が丘団地の環境を楽しみ、ますますよいものに育っていききたいものです。 完

死なれて生活に困ったと言うことなどいろいろ重なっていたみたいです。私も七十歳を少し出ますと何となく体力も視力も少しづつ衰えて来たようです。針に糸が通らないとか肩が凝るとかは無い点は幸せですが。この頃は着分のウール地など求めて来て年寄りの前重ね、裕の巻きスカート等作るのが楽しみです。娘とその子供は相変わらず、おばあちゃんの仕立を当てにしています。衣類専門のお店の仕事をしたことともなし、普通の会社づとめもしたこともないおばあちゃん(私)は、全く「好き」だったの一言です。

◇サークル紹介◇少年サッカークラブ
“東京ストライカーズ”

中間 隆之介

ぼくは、三年のころにこのサッカークラブに入りました。

このサッカークラブのよい点は、れん習場が赤塚新町小学校の校庭だとゆうことです。それにもろろん他のチームとの試合もあります。とても楽しいです。みなさんも一度見きてはどうですか。待ってますヨ!!

木本 健太郎

うちのサッカークラブは、コーチ

新聞討論を

開始します

「ゆり北」一月号より、新聞の紙面を使って、皆様と対話をしてゆきたいと考えています。やはり新聞の使命は、一方通行の情報提供だけではなく、皆様方と当団地が直面している現実の問題につき討論を繰り返していくことが重要であると考えます。

自転車・バイクの点検を終えて

第二回荷札貼付枚数統計より

当自治会生活・環境部で毎年恒例の自転車・バイクの整理・整頓と不要自転車・バイクの回収を実施するため、荷札貼付を行ってきましたが、その結果、昨年の調査では全自転車・バイク数は千五百七十台であったのが、今年の調査では、その数が千九百六十七台となっており、三百九十七台増加しました。特に住居戸数の多い一号楼・四号楼・十号楼・十一号楼・十三号楼が

大幅に増加しました。もともと当団地の駐輪スペースは住居人数に比べ大変狭いといわれていることもあり当自治会でも、駐輪スペースを広げるよう交渉していきませんが、今後ともできるだけ不要自転車は個人でも処理していただくと大変助かります。今後とも皆様の御協力を期待する次第です。

年末パトロール

始まる

今年も自治会役員・自治委員による年末パトロールが始まります。期間は、十二月二十日から十二月三十一日まで予定しています。今回は、光が丘周辺での放火事件が増えているため、火災予防パトロールを重点的に行い、合せて不法駐車・不法侵入車のチェックも行います。

編集後記

最近、私たちの身近で「国際化」という言葉が定着してきたような気がします。新聞を見ると毎日のように円高だとか市場開放要求が載っています。そして他の国で何が起っているのかも手に取るようにわかります。そんな中で我が目を引いたのは、「夢のオーストラリア移住者続々」のすみか「国際化」でした。こんな狭い日本に住むよりも、とっても良いのですね!

これからは、価値が上った日本円を持って海外に移住するのも夢ではなく現実の問題として取り上げられる時代になったのだと痛感しています。

年末大掃除
ご協力ありがとうございました。